

28K-pm01

次世代の若者に向けた高大連携「医療・薬学」講座の開講

○杉原 多公通¹, 飯村 菜穂子¹, 星名 賢之助¹, 酒巻 利行¹, 朝倉 俊成¹, 川原 浩一¹, 福原 正博¹, 田代 卓哉¹, 北川 幸己¹ (¹新潟薬大薬)

【目的】 新潟薬科大学薬学部では、2008年より次世代を担う若者に対して「薬学」の魅力、薬剤師の職域の広さ、その重要性を伝えるため、毎年趣向を凝らした企画で高大連携「医療・薬学」の開講を進めおり、今年度で8年目を迎える。本講座は高校生はもちろんのこと中学生にも講座を開放しており、さらには科目等履修生としての単位を授与する取り組みも行っている。本講座の様子について受講生アンケートとともに報告する。

【講座計画・企画】 本講座は新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、上越市教育委員会、新潟県薬剤師会、長野県薬剤師会、長野市薬剤師会に後援を頂き、平成27年7月から8月の間、全8回の講義、2回の実験講座、さらにこれらに加えて医療現場における体験学習を企画し実施した。本講座は新潟薬科大学を主会場として特に講義は集中講義型のスタイルを導入して行い、本講座日程について定められた出席数を得た受講生に対して単位認定試験の受験資格を与え、講座とは別日程で単位認定試験を実施した。

【結果・考察】 講義、実験講座を受講した中高生は延べ人数にして約280名であったことから多くの生徒達に対して「薬学」の魅力を伝えることができた事業になったと思われる。また今年度の受講生のうち19名が単位認定試験を受験し、本学1年生の開講科目である「薬学に親しむ(1単位)」の単位取得をした。今年度の開講までで単位認定された高校生は総計114名になり、そのうち本学に入学を決めた生徒は、約80名にのぼる。これらのことから本講座の継続したこれまでの実施は薬学啓蒙に広く貢献し、ある一定の成果を生んでいると考えている。